

平成26年度 マザーレイク21計画関連事業の概要

(H26. 7. 16時点)

区分名		区分内容	事業数	当初予算(千円)
再生琵琶湖流域生態系の保全	湖内	良好な水質と栄養塩バランスの回復と、多様で豊かな在来生物群集の再生を目指す取組	17	230,537
	湖辺域	絶滅に瀕する在来種の種数と外来種の減少、在来魚介類の再生産の回復と漁獲量の増加、湖岸景観の回復を目指す取組	43	2,206,528
	集水域	適切に管理された森林や生物多様性に配慮した農地の増加と在来生物の回復を目指す取組	58	31,579,661
	つながりへの配慮	湖内、湖辺域、集水域を行き来する在来生物の増加を目指す取組	1	2,180
		小計(重複含む)	119	34,018,906
暮らしと湖の関わりの再生	個人・家庭	身近な水環境と親しみ、自らのライフスタイルを見直していく人の増加を目指す取組	10	183,284
	なりわい	琵琶湖流域保全と調和した生業(なりわい)の活性化と、企業による地域の環境や文化の保全、再生活動の活発化を目指す取組	11	131,418
	地域	地域固有の環境、文化や歴史の再評価と、それらを保全する活動や取組の活発化を目指す取組	11	424,312
	つながりへの配慮	地域を越えた活動のための仕組みづくりと普段の生活の中での湖との関わりの定着を目指す取組	31	917,845
		小計(重複含む)	63	1,656,859
		合計(重複含む)	182	35,675,765
		合計(重複除く)	164	35,110,853



平成26年度 マザーレイク 21計画関連事業の概要 (内訳)

(単位:千円)

年度 (事業年度)	事業名	担当課	事業主体	補助主体	施策の目的	事業概要	H26年度予算額		H25年度決算額	
							国庫	起債	分県金 負担金	一般財源 一部財源
1	琵琶湖の総合保全に向けた総合的・学際的な調査検討	琵琶湖政策課	滋賀県	—	H19年度から進めてきた水質汚濁メカニズムの解明調査の成果を活かし、有機物に関する新たな水質管理手法を確立するとともに、水質と生態系の関係解明と新たな評価手法の構築を自覚した調査・研究を進める。	「新たな水質管理のあり方懇話会」を設置し、有識者の知見を踏まえ、今後の水質管理のあり方、水質目標値の考え方、新たな有機物管理指標について意見交換を行う。 ・琵琶湖流域での物質循環の再現	9,059	9,059	12,961	—
2	水質汚濁対策事業 (環境政策課計上分除)	琵琶湖政策課	滋賀県	—	公共用水域 (琵琶湖・河川) の水質モニタリングをおこなうことにより、公共用水域の水質汚濁の状況を把握する。	・水質汚濁防止法の規定に基づき、公共用水域水質測定計画を策定し、琵琶湖・流入河川での水質モニタリング (琵琶湖湖北湖 10地点、南湖 5地点、河川 23地点) (生活環境項目等 (COD、T-N、T-P等) 年12回、健康項目 年4回、要監視項目 年1回)、分析精度管理調査 (年1回)	26,793	26,793	23,398	23,000
3	水質環境調査	琵琶湖政策課	滋賀県	—	琵琶湖での赤潮・アオコ発生状況の確認、西之湖・余呉湖の水質調査等を通じて、特定の水質汚濁の原因を把握し、普及啓発に努める。また、水浴場水質調査により、利用客への情報提供に努める。	・赤潮発生状況調査 (通報時対応) ・アオコ発生状況調査 (週3回、6月～10月) ・余呉湖水質調査 (年4回、5地点) ・西之湖水質調査 (年4回、6地点) ・水浴場水質調査 (県内9地点、年2回) ・雨水負荷調査 (月2回、1地点)	1,285	1,285	1,205	1,285
4	水質自動測定による常時監視	琵琶湖政策課	滋賀県	—	琵琶湖及び周辺河川に設置している水質自動測定局の維持管理	琵琶湖及び河川に設置している水質自動測定局の維持管理 上記以外 湖沼3局、河川4局 (※H17年度から測定休止)	3,223	3,223	2,963	2,963
5	【新規】琵琶湖・瀬田川プラント等モニタリング調査	琵琶湖環境科学センター	滋賀県	—	継続的な琵琶湖におけるプラントのモニタリングを行うことにより、琵琶湖生態系保全に向けた取り組み、研究の根拠をなす情報として活用を図る。	琵琶湖生態系の基礎を成し、水質の重要な形成要素であるプラントについて、発生状況を継続的にモニタリングする。 琵琶湖環境基準調査におけるモニタリング ・琵琶湖環境基準調査におけるモニタリング ・瀬田川プラント調査	1,569	1,569	—	1,569
6	【新規】北湖深層と湖底環境の総合把握	琵琶湖環境科学センター	滋賀県	—	北湖深層の状況を継続的に監視することにより、水質や生態系への影響および低酸素化メカニズムの全体像を把握する。	水質指標の長期変動や底泥の状況を継続的に把握するほか、水中ロボット等による底生生物モニタリング調査や3次元流動・腐質・生態系総合モデルの構築を行う。	12,914	12,914	—	12,914
7	【新規】化学物質の影響把握と総量リスク評価手法の検討	琵琶湖環境科学センター	滋賀県	—	化学物質の有害性や暴露等の情報が不足する中、従来からの個別の化学物質のリスク評価に加え、生態影響を考慮した総量としてのリスク評価を進める	類縁化学物質等の一斉機器分析法を確立し、優先度の高い個別化学物質からリスク評価を行う。また、ヒメノミカを用いた急性毒性試験等の生態影響試験の手法や環境省が推進するWGET法の手法を確立する。	2,796	2,796	—	2,796
8	水産多面的機能発現対策事業	水産課	滋賀県	水産庁	水産業の多面的機能の効率的・効果的な発現に資する地域の取組を支援することにより、水産業の再生・漁村の活性化を図る。	漁業者を中心とする活動組織によるコン帯や浅場の保全活動 (総合構造物の管理、浮遊・堆積物の除去、保護区域の設定)、教育と啓発などの活動を支援する。	112,047	112,047	99,821	99,821

琵琶湖流域生態系の保全・再生

湖内 (良好な水質と栄養塩バランスの回復と、多様な豊かな在来生物群集の再生を目指す取組)

(単位：千円)

年度 (通算年度)	番号	事業名	担当課	事業主体	補助主体	施策の目的	事業概要	H26年度事業量・内容等				H25年度事業量・内容等			
								回数	延床	分相分 取組費	その他 費	その他 取組費等	回数	延床	分相分 取組費
9	9	南湖のホンモロコにぎわい復活事業	水産課	滋賀県	—	南湖の漁場環境を改善し、ホンモロコにぎわいを取り戻す。	・水草を刈り取り、ホンモロコ稚魚の生息環境を改善する。 ・調査用に標識を施した稚苗を放流する。	15,700	15,700					15,592	
10	10	水温上昇が琵琶湖の水産生物に及ぼす影響の解明	水産課	滋賀県	農林水産技術芸農園	温暖化による水温上昇の影響解明及び適応技術を開発する。	温暖化の影響を特に受けるイサザの調査・技術開発を行う。	—	—					600	
11	11	琵琶湖沿岸環境変動の影響調査研究	水産試験場	滋賀県	—	漁網の汚濁、水草の異常繁茂などの原因および河川流域における生活排水処理水の影響を明らかにし、漁場環境改善に向けた対策を示す。	・南湖底富栄養化等状況把握調査 ・生活排水処理水が河川漁場環境に及ぼす影響の把握 ・漁網への養魚等付着メカニズム解明対策研究 ・魚類相の変化が沿岸環境に与える影響評価研究	503	503					480	
12	12	琵琶湖生態系修復総合対策研究	水産試験場	滋賀県	—	大きな歪みが生じている琵琶湖の生態系を修復する。	・沖合底魚、沖合浮魚資源の評価 ・外来魚駆除効果の評価 ・ホンモロコ繁殖源の解明研究 ・スジエビ資源の漁況予測技術開発研究 ・淡水魚生産機能回復研究 ・温水性魚類の効率的再生産動長技術開発研究	1,926	1,926					3,352	
13	13	漁況予報調査研究	水産試験場	滋賀県	—	琵琶湖漁業における重要な魚種であるアユの漁況予報を行う。	・産卵状況や仔稚魚生息状況、湖中魚群分布状況、漁獲状況調査および漁獲魚体測定などを行いアユの資源状況を把握する。	1,824	1,824					1,795	
14	14	漁場環境調査研究	水産試験場	滋賀県	—	漁場環境の動向を定期的に把握するとともに、突発的なプランクトン異常発生や風介類の異常死事故の調査、指導を行う。	・琵琶湖定点定期観測調査 ・西之湖水草調査 ・風介類の異常死事故等調査	711	711					695	
15	15	アユ資源動向予報調査研究	水産試験場	滋賀県 委託者	—	平成24年の産卵不調の原因解明とともに、迅速で精度の高い資源予報技術を開発する。	・産卵量減少の原因の想定・検討 ・環境要因の変動と成長・生残との関係調査 ・湖産アユの遺伝的特徴及び多様性の変化の有無を検証	5,055	5,055					5,000	
16	16	【新編】セタンジミ資源の回復・向上試験時魚	水産試験場	滋賀県	—	北湖漁場において、天然の生産力を活用してセタンジミの生残・成長に有効な好適環境を作り出す技術を開発する	・構造物設置による養魚回復場長調査 ・好適環境と利用物質の把握 ・適切な構造物設置条件の把握とシミュレーション	3,500	3,500					—	
17	17	河川不占川適正化対策事業	河川・港灣室	滋賀県	—	琵琶湖における不占川用の解消を図る。	琵琶湖における不占川用物件や放置物などについて、河川法等関係法令に基づき是正、撤去を行う。	8,632	8,632					2,729	
小計								230,537	230,537	小計	170,602				

年度 (事業年度)	事業名	担当課	事業主体	補助主体	施策の目的	事業概要	H26年度予算額		H26年度決算額	
							国庫	分団金 負担金	国庫	分団金 負担金
18	1 ヨシ群落維持再生事業	琵琶湖政 策課	滋賀県	—	ヨシ群落や地域の特性に応じ、その多様な機能に十分に留意しながら、抽水植物環境を維持するためのヤナギやハンギなどの剪定や伐採を適切な形で実施する。	健全なヨシ群落を保全・育成するため、ヨシ刈りやヤナギの伐採及び清掃等の維持管理を実施する。	2,000	2,000	—	—
19	2 ヨシ群落保全管理事業	琵琶湖政 策課	滋賀県	滋賀省	ヨシ群落は、琵琶湖の自然景観の重要な要素であるとともに、生物の成育・生息の場、人々の安らぎの場など、様々な機能を有している。しかし、湖岸の浸食や干拓、埋立などによりヨシ群落の保全を図るとともに、ヨシ刈り等の維持管理事業やヨシ帯の造成により、ヨシ群落の維持、拡大を図る。	ヨシ群落造成事業 近年の環境変化に伴い、湖岸植生が後退した野洲市高瀬地区において、防砂防止構造物(突堤など)や波道防止構造物(消波堤)を設置し、湖底の土砂移動を抑制して、ヨシ群落の持つ再生能力が発揮できる環境を整えて、ヨシ群落の自力再生をめざす。 ヨシ群落造成事業 ①ヨシ帯再生: 0.08ha ②維持管理: 2.8ha ③助成: 10団体	25,130	8,250	6,480	10,400
20	3 ヨシ群落保全 (自治振興交付金)	琵琶湖政 策課	市町/ 自治会 等住民 組織	滋賀県	ヨシ群落の保全に関する条例第9条に定めるヨシ群落保全基本計画に基づき実施する保全区域内でのヨシ群落保全事業に要する経費補助金。①市町、②自治会等住民組織、③市町専門業者の1/3以内 ④市町が補助する額の1/3以内	ヨシ群落の保全に関する条例第9条に定めるヨシ群落保全基本計画に基づき保全区域内で実施するヨシ群落保全事業を支援する。 ※市町振興課所管の自治振興交付金を財源とした事業	530,000千円の内訳	530,000千円の内訳	—	530,000千円の内訳
21	4 内湖再生検討事業 (農政課計上分除)	琵琶湖政 策課	滋賀県	滋賀省	・早崎内湖は、もとより湧水に恵まれた土地で、かつては固有種ゲンゴロウナガの琵琶湖最大の産卵場であり、ネジシモ、ハイバラモなど貴重な植物が生育するなど、琵琶湖の中でもとりわけ内湖を再生し、湖辺域のビオトープの拠点になるとともに琵琶湖生態系の保全を目指す。	・生物環境水質浄化機能調査 ・地域生態環境調査 ・地形測量 ・排水ポンプ設備設計 ・事業用地再取得	96,113	42,912	753	52,448
22	5 琵琶湖レジャー利用適正化推進事業 (ひわこルールキッズ事業分除)	琵琶湖政 策課	滋賀県	—	琵琶湖のレジャー利用の適正化に関する条例に基づき、琵琶湖での適正レジャー利用を推進し、環境負荷の低減を図る。	琵琶湖ルールに基づく琵琶湖のレジャー利用の適正化の推進 ・プレジャーボートの航行規制水域の遵守 ・適合原動機の使用と適合証表示制度の徹底 ・外来魚のリリース禁止	25,645	24,345	1,300	23,536
23	6 【再掲】 琵琶湖の総合保全に向けての総合的・学際的な調査検討	琵琶湖政 策課	滋賀県	—	H19年度から進めてきた水質汚濁メカニズム解明調査の成果を活かし、有機物に関する新たな水質管理手法を確立するとともに、水質と生態系の関係解明と新たな評価手法の構築を目指した調査・研究を進める。	・「新たな水質管理のあり方懇話会」を設置し、有識者の知見を踏まえ、今後の水質管理のあり方、水質目標値の考え方、新たな有機物管理指標についての意見交換を行う。 ・「レジャーボート」を用いて、琵琶湖流域全体の物質循環の再評価を行い、水質・生態系との関係解明、新たな評価手法の構築を進める。	9,059	9,059	—	12,961
24	7 水草刈取事業	琵琶湖政 策課	滋賀県	—	・異常繁殖している琵琶湖の水車による生活環境や生態系への影響を改善する ・異常繁殖している水草を有効利用し、資源循環させる。	・表層部(1.5m)の水草刈取事業: 除去量1,200t ・根こそぎ刈り取り事業: 面積887ha ・有効利用: 農地等	184,000	31,472	152,528	196,631
25	8 水草除去緊急対策事業 (自治振興交付金)	琵琶湖政 策課	市町	滋賀県	市町が実施した水草類の処理に要した経費ただし、事業費の下限は100万円とする 算入率: 市町事業額の1/2以内 ※市町振興課所管の自治振興交付金を財源とした事業	水草類の処理を実施する市町: 2市町	530,000千円の内訳	530,000千円の内訳	—	530,000千円の内訳

湖辺域(絶滅に瀕する在来種の種数と外来種の種数と外來種の種数の増加、湖岸景観の回復を目指す取組)

年度 (事業年度)	番号	事業名	担当課	事業主体	補助主体	施策の目的	事業概要	H26年度 予算額	財源内訳				H25年度 決算額
									国庫	県債	分担金・ 負担金	一部財源	
26	25	水草刈取事業	下水道課	滋賀県	—	生活環境の保全、景観保護のため、異常繁殖している水草の除去を行う。	栄養塩の豊富な底泥と高水温および土砂等の流入に伴う河床の堆積により年間を通じて繁茂する水草の除去を行う。	9,350	9,350	—	—	9,213	
27	26	水草刈取事業	下水道課	滋賀県	—	夏期の水位低下時には水草が盛茂し悪臭を発生することから、浄化センター周辺の環境対策として水草の除去を行う。	水草刈取り船(ハーベスター)により水深1.5mまでの水草を刈取り、刈り取った水草の有効利用を行う。	15,605	15,605	—	—	13,125	
28	27	【新規】 侵略的外来水生植物徹底駆除事業	自然環境 保全課	琵琶湖 外来水生植物 対策協議会	—	琵琶湖の生物多様性を脅かす侵略的外来水生植物を徹底的に駆除する。	国や市町、県研究機関などとの連携や生観照明による効果的かつ効率的な駆除方法の確立と駆除を実施する。	10,000	10,000	—	10,000	—	
29	28	【新規】 外来生物防除対策事業	自然環境 保全課	滋賀 県、市 町村等	—	県民やNPO、市町等の多様な主体と協働で侵入した外来生物の拡大を阻止する。	普及啓発や監視、駆除活動を支援する。また、外来種リス(おおむし)の防除計画を作成する。	3,900	3,900	—	3,900	—	
30	29	【新規】 生物多様性の保全と持続可能な利用に向けた研究	琵琶湖環 境科学研 究センター	滋賀県	—	生物多様性の現状把握と行政・企業における生物多様性の主流化促進に向けた政策提案を行う。	「滋賀県生物多様性地域戦略」を推進していく上で必要となる生物多様性の現状を把握するとともに、滋賀県における生物多様性の保全と持続可能な利用の促進、ならびにその推進体制の在り方について、社会科学的・保全生態学的な観点から検討する。	3,801	3,801	—	3,801	—	
31	30	【新規】 水生生物の「つなぎり」の再生に関する研究	琵琶湖環 境科学研 究センター	滋賀県	—	琵琶湖流域における喫緊の課題である「在来魚介類の減少」に対して、県立試験研究機関が連携し、水素や酸素濃度のつなぎりの効果から、その減少要因の解明と在来魚介類の復活に向けた政策提案を行う。	河川、湖辺域、湖内、集水域における魚介類の生息環境や琵琶湖環境の変化による在来魚介類への影響を現地調査および取組のデータ解析から把握する。また、在来魚介類を増やすための方策について調査結果および取組情報を基に整理・検討する。	26,591	26,591	—	26,591	—	
32	31	環境保全型農業直接支払交付金(県独自)	食のブランド推進課	各農業 生産者	滋賀県	琵琶湖や周辺環境を保全するとともに消費者に安全で安心な農産物を提供するため。	環境こだわり農業を実践した上でさらに圃場化防止や生物多様性保全等に効果の高い営農活動に取り組み、農業者に対して直接支援する。	80,000	80,000	—	80,000	74,480	
33	32	水産基礎整備事業(覆砂)	水産課	滋賀県	水産庁	セキジミの産卵繁殖場となる砂地を回復させ、水産資源の増大を図る。	かつて主要漁場であった南瀬において、砂地造成する。	148,625	72,500	68,450	62	7,613	118,708
34	33	水産基礎整備事業(ヨシ帯)	水産課	滋賀県	水産庁	コイ科魚類の産卵繁殖場であるヨシ帯を回復させ、水産資源の増大を図る。	天然ヨシ帯の衰退が著しい地区において、ヨシ帯を造成する。	231,625	114,000	105,850	11,775	—	107,485

年度	番号	事業名	担当課	実施主体	補助主体	施策の目的	事業概要	H26年度事業量・内容等				H26年度予算額	財源内訳				H25年度決算額
								国庫	県債	分科金・負担金	一般財源		その他事業費	その他補助費等			
35	34	カワウ漁業被害防止対策事業	水産課	滋賀県/滋賀県水産振興会/滋賀県水産協同組合	農林水産省/滋賀県水産振興会/滋賀県水産協同組合	カワウの食害による漁業被害を軽減させるため、営巣地においてカワウの捕獲を行うとともに、飛来地において花火や防鳥糸等による被害防止を行う。	・漁場に飛来するカワウの捕獲、追い払い ・営業地における捕獲	18,607	23,466	618	2,000	2,241	23,052				
36	35	多様で豊かな湖づくり推進事業	水産課	滋賀県、滋賀県水産振興会、滋賀県水産協同組合	—	ニゴロブナの育苗生産、放流 ウナギ、ヒワマスの放流 人工河川の運用によるアユ資源の添加	・ニゴロブナ放流：20mm種苗800万尾、120mm種苗90万尾 ・ウナギ放流：種苗620kg、ヒワマス放流：種苗70万尾 ・アユ放流：親魚12トン ・セタンジミ親魚放流技術開発	56,878	75,013	7,713	49,165	—	75,013				
37	36	セタンジミ種苗放流事業	水産課	滋賀県	—	セタンジミ資源の回復	草津市志那沖の砂地造成漁場において、セタンジミ種苗を放流する。	セタンジミ稚貝放流：1,200万個	3,000	2,705	—	—	2,705				
38	37	ホンモロコ資源緊急回復対策事業	水産課	滋賀県	—	激減したホンモロコ資源の回復	水田を活用してホンモロコ種苗の生産・放流を行う。	・天然親魚生産1万尾 ・ホンモロコ親魚養成3トン ・水田育成20mm種苗800万尾放流	16,800	16,200	4,200	—	16,200				
39	38	琵琶湖固有種ワタカで学ぶ南湖再生事業	水産課	滋賀県	—	琵琶湖南湖は水草の異常繁茂により、環境が悪化している。このため、草食性のワタカ等を放流し、水草抑制に努める。	・ワタカ種苗を南湖に放流し、水草異常繁茂対策とする。 ・ゲンゴロウワナを水田で育成し、南湖に放流する。	4,300	5,400	4,300	—	—	5,400				
40	39	内湖の在来魚生産機能の回復・向上試験事業	水産課	滋賀県	—	かつて南湖が有していた在来魚再生産機能を取り戻す。	西之湖において、ニゴロブナ等の種苗放流と外来魚駆除を総合的に実施して、内湖の水産資源増殖効果を評価する。	—	11,362	—	—	—	11,362				
41	40	有害外来魚ゼロ作戦事業	水産課	滋賀県/滋賀県漁業協同組合/滋賀県水産協同組合	滋賀県/全道内水面漁業協同組合連合会/滋賀県水産協同組合/滋賀県水産協同組合	琵琶湖の水産資源の回復を図るため、在来魚に被害をおよぼす外来魚の駆除と繁殖抑制を行う。また、効果的な外来魚駆除方法を検討する。	・外来魚駆除：315t ・外来魚稚魚の駆除：約600万尾 ・オオクワチハス親魚の重点駆除	57,960	130,075	2,345	66,715	3,055	84,960				
42	41	資源管理型漁業推進総合対策事業	水産課	滋賀県資源管理協議会	—	琵琶湖の生態系や水産資源の維持・回復を目的とした資源管理型漁業を推進する。	対象魚種の資源や漁獲状況の調査を行う。	セタンジミ、ニゴロブナ、ホンモロコ、アユの資源状況調査	2,500	3,000	2,500	—	3,000				
43	42	【新規】赤野井湾の在来魚復活事業	水産課	滋賀県	—	赤野井湾において、ニゴロブナやホンモロコ等の在来魚の復活を目指す。	・集中した外来魚駆除 ・ニゴロブナ、ホンモロコ種苗放流 ・効果調査	6,900	6,900	6,900	—	—	—				

(単位：千円)

年度 番号	事業名	担当課	事業主体	補助主体	施策の目的	事業概要	H26年度事業量・内容等	財源内訳				H25年度 決算額
								H26年度 予算額	国庫	県庫	分団会・ 負担金	
44	【再掲】 水産多面的機能発揮対策事業	水産課	滋賀県 水産多 面的機 能発揮 協議会	水産庁	水産業の多面的機能の効率的な発 揮に資する地域の取組を支援することによ り、水産業の再生・漁村の活性化を図る。	漁業者を中心とする活動組織によるコンテナや浅場の保 全活動(軽合機物の管理、浮遊・堆積物の除去、保 護区域の設定)、教育と啓蒙などの活動を支援する。 漁村の広承機会の提供 を実施	32の活動組織が ・コンテナの保全 ・内水面の生態系維持 ・教育と啓蒙の場の提供 ・漁村の広承機会の提供 を実施	112,047	112,047			99,821
45	【再掲】 水温上昇が琵琶湖の水産生 物に及ぼす影響の解明	水産課	滋賀県	農林水 産技術 協議会	温暖化による水温上昇の影響解明及び適応 技術を開発する。	温暖化の影響を特に受けるイサザの調査・技術開発 を行う。						600
46	①魚のゆりかご水田推進プロ ジェクト事業 ②魚のゆりかご水田拡大キャ ンペーン事業 ③マザーレイク基金魚のゆり かご水田事業	農村振興 課	滋賀県	—	・水田の魚類産卵繁殖場としての再生 ・地域住民の環境意識の向上、環境学習の 場の提供 ・人と人とのつながりの強化による地域コミュ ニティーの活性化	県内外に対する本プロジェクトの普及啓蒙や地域活動 組織に対する魚道整備の技術支援等。 ※①、②に係るもの。③はH26は無し	・魚のゆりかご水田取組面積：121ha ・魚のゆりかご水田取組拡大に向けた地域活動 ・活動組織間のネットワーク化 ・活動組織向けの研修会開催	3,200	3,200			3,700
47	【再掲】 琵琶湖沿岸環境変動の影響 調査研究	水産試験 場	滋賀県	—	漁網の汚損、水草の異常繁茂などの原因お よび河川汚濁における生活排水処理水の影 響を明らかにし、漁場環境改善に向けた対策 を示す。	左記目的を達するため調査研究を行う。	・南湖湖底富栄養化等状況把握調査 ・生活排水処理水が河川汚濁環境に及ぼす影響 の把握 ・湖への養鱒等付着メカニズム解明対策研究 ・魚糞相の変化が沿岸環境に与える影響評価研 究	503	503			490
48	【再掲】 漁況予報調査研究	水産試験 場	滋賀県	—	琵琶湖漁業における重要な魚種であるアユ の漁況予報を行う。	産卵状況や仔稚魚生育状況、湖中魚群分布状況、漁 獲状況調査および漁獲魚体測定などを行いアユの 資源状況を把握する。	・産卵状況調査 ・アユ仔稚魚生育状況調査 ・湖中魚群分布調査 ・漁獲状況調査 ・漁獲魚体測定調査	1,824	1,824			1,795
49	【新規、再掲】 セタンジミ資源の回復・向上試 験時魚	水産試験 場	滋賀県	—	北湖漁場において、天然の生産力を活用して セタンジミの生産・成長に有効な好適環境を 作り出す技術を開発する	セタンジミに有効な環境を作り出す構造物の設置条件 の検証と餌環境の改善を検証する	・構造物設置による資源回復場長調査 ・餌環境と利用物質の把握 ・最適な構造物設置条件の把握とシミュレーショ ン	3,500	3,500			—
50	44 33 生物環境アトバイザ一制度	監理課	滋賀県	—	「人と自然にやさしい建設工事」を実現するた め、生物環境等の専門家からの指導助言を 受けながら、公共施設の計画づくりや工事実 施を行うものである。	建設関係技術者の生物に対する知識の向上を図りな がら、生物環境に配慮した公共事業の円滑な執行を 図る。	適用箇所：14箇所	1,722	1,722			2,298
51	45 34 びわこ地球市民の森事業	都市計画 課	滋賀県	国土交 通省	生物生息空間(ビオトープ)をつなぎネット ワーク化するための拠点の確保	県民との協働(パートナーシップ)による森づくりを行 う。	園路広場施設整備	139,500	65,000	66,427		125,225
52	46 35 湖岸緑地再生整備事業	都市計画 課	滋賀県	国土交 通省	生物生息空間(ビオトープ)をつなぎネット ワーク化するための拠点の確保	湖辺域の環状緑地ネットワークの整備	園路広場施設整備	36,500	15,000	16,283		103,643

34



年度 番号	事業名	担当課	事業主体	補助主体	施策の目的	事業概要	H26年度 予算額	財源内訳					H25年度 決算額
								国費	国庫	分担金・ 負担金	一般財源	その他 県費	
53 47	湖岸緑地維持整備	都市計画課	滋賀県	—	琵琶湖とその周辺におけるボートブレイクワークの形成や、自然環境の再生、保全に考慮した都市公園の維持管理を図る	湖岸緑地の維持管理	182,737				182,737		188,548
54 48	都市公園維持整備	都市計画課	滋賀県	—	琵琶湖とその周辺におけるボートブレイクワークの形成や、自然環境の再生、保全に考慮した都市公園の維持管理を図る	びわこ地球市民の森、びわこ文化公園の維持管理、および緑づくりに関する業務の委託	54,985				54,985		50,358
55 49	びわ湖を中心とした広域的景観形成事業	都市計画課	滋賀県	—	湖国ならではの「びわ湖周辺のひろがり」とつながりのある風景を守り育てる。	びわ湖周辺の優れた眺望景観等を保全する方策を構築する。 びわ湖周辺の屋外広告物の規制のあり方を見直す。	1,017				1,017		8,152
56 50	自然再生事業 (砂浜保全)	河川・港湾室	滋賀県	国土交通省	漂砂による自然湖岸の侵食を防止する。	琵琶湖湖岸で侵食を受けている地区について、養浜・養浜・養浜対策工事等の工法を組み合わせて砂浜の保全・復元を行う。	52,500	25,000	24,700		2,800		—
57 51	みずべ・みらい再生事業(湖岸保全)	河川・港湾室	滋賀県	—	琵琶湖湖岸に見られる侵食に対する対策を実施し、湖岸の保全を図る。	琵琶湖湖岸の砂浜侵食防止対策を実施することにより、湖岸の自然的環境・景観保全を図る。	24,980	22,500			2,480		24,980
58 52	河川環境保全再生事業	河川・港湾室	滋賀県	—	南湖を健全な生物生息空間、豊かな漁場として再生する。	琵琶湖南湖の生物生息空間の回復を図る。	200,000				200,000		200,000
59 53	補助河川環境整備事業	河川・港湾室	滋賀県	国土交通省	汚濁の著しい河川や内湖の浄化を行い、琵琶湖の水質浄化を図る。	汚濁の著しい内湖や南湖の閉鎖性水域に流入する河川において水質改善対策を実施する。	261,450	98,000	147,100		16,350		273,000
60 54	水草刈取事業	河川・港湾室	滋賀県	国土交通省	異種繁茂した水草により湖流が停滞して水質が悪化するのを防ぐとともに、琵琶湖南湖における健全な生物生息空間を再生する。	異種繁茂した水草により湖流の停滞が生じる事を防止し、琵琶湖南湖における健全な生物生息空間を再生するため、水草の刈取りを実施する。	14,700	7,000	6,900		800		21,000
小計							43事業	2,206,528				2,206,528	2,251,331

集水域(適切に管理された森林や生物多様性に配慮した農地の増加と在来生物の回復を目指す取組)													
61 55	湖沼水質保全計画(流出水対策等)推進事業	琵琶湖政策課	滋賀県	—	下水道などの流入負荷削減にもかかわらず、水質改善には必ずしも反比例しない課題に対応するため、水環境保全に向けた基礎資料を得る。	水質汚濁メカニズムを解明するために、赤野井湾流域(SS、COD、T-N、T-P等)の水質調査等を実施する。	1,275				1,275		1,008

(単位：千円)

年度 (事業年度)	番号	事業名	担当課	事業主体	補助主体	施策の目的	事業概要	H26年度予算額				H25年度決算額			
								国費	国庫	分団費・負担金	一般財源	その他	国庫	分団費・負担金	一般財源
62	—	【再掲】 琵琶湖の総合保全に向けた総合的・学際的な調査検討	琵琶湖政策課	滋賀県	—	H19年度から進めてきた水質汚濁メカニズム解明調査の成果を活かし、有機物に関する新たな水質管理手法を確立するとともに、水質と生態系の関係解明と新たな評価手法の構築を目的とした調査・研究を進める。	「新たな水質管理のあり方懇話会」の設置 ・琵琶湖の有機物の状況を把握するための新たな有機物管理指標の導入 ・琵琶湖流域での物質循環の再現	9,059	9,059					12,961	
63	56	水質汚濁対策事業 (琵琶湖政策課計上分除)	環境政策課	滋賀県	—	工場等からの排水及び地下水の汚染状況を監視する。	工場等排水及び地下水の水質の調査を実施する(大津市除く)。また、その調査分析精度を管理する。	14,650	14,650					11,597	
64	57	浄化槽設置整備事業	循環社会推進課	市町	環境省/滋賀県	合併処理浄化槽の計画的な整備を図り、し尿と雑排水をあわせて処理する。	琵琶湖の水質保全、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与するため、合併処理浄化槽の整備を行う。	89,392	28,044		29,017			32,331	
65	58	ごみ処理施設整備事業	循環社会推進課	市町/一部事務組合	環境省	廃棄物を適正に処理し、生活環境の保全を図る。	廃棄物を適正に処理し、生活環境の保全を図るため、ごみ処理施設の整備を行う。	5,697,640	2,035,582					3,662,078	
66	59	公共下水道事業	下水道課	市町	国土交通省	琵琶湖の水質保全、生活環境の保全及び公衆衛生の向上	4処理区からなる琵琶湖流域下水道の関連公共下水道と6つの単独公共下水道の整備を行う。	4,870,900	2,498,500					2,432,400	
67	60	流域下水道事業	下水道課	滋賀県	国土交通省	琵琶湖の水質保全、生活環境の保全及び公衆衛生の向上	市町の公共下水道の整備とあわせて赤坂下水道の整備を行う。	7,972,966	4,283,409	1,786,900	1,892,699		10,158	5,367,645	
68	61	雨水幹線整備事業	下水道課	滋賀県	国土交通省	市街地のノンポイント由来の汚濁負荷を削減し水質保全を図る	市街地のノンポイントにあわせて、ノンポイント汚濁負荷を含む雨水を雨水幹線に転送するポンプ設備、配管の整備を行う。	6,500	3,250	3,250				1,503	
69	62	市街地排水浄化対策事業	下水道課	滋賀県	—	市街地のノンポイント由来の汚濁負荷を削減し水質保全を図る	草津市の市街地のノンポイント由来の汚濁負荷を沈殿や植生浄化等により浄化する。	23,031	11,515	11,515			11,516	14,052	
70	63	下水道終末処理場高度処理施設維持管理補助金	下水道課	市町	滋賀県	琵琶湖の水質保全	公共下水道の終末処理場において行う高度処理に係る経費を支援する。	12,117					12,117	10,524	

36

(単位：千円)

年度 番号	事業名	担当課	事業主体	補助主体	施策の目的	事業概要	H26年度				H25年度			
							予算額	実績	補助	国費	予算額	実績	補助	国費
71 64	汚水処理施設整備接続等交付金	下水道課	市町	滋賀県	琵琶湖の水質保全	公共下水道や浄化槽の整備を行う市町を支援する。	67,711				67,711			65,623
72 65	里山リニューアール事業	森林政策課	市町	林野庁/滋賀県	枯損マツの放置、竹の異常侵入などで荒廃している里山を早急に整備する。	市町と森林所有者等の協定による里山整備方針に基づき、市町が「里山整備タイプ」と「緩衝帯整備タイプ」のいずれかにより整備を行う。	45,360	6,790			38,570			43,492
73 66	県民の森等整備管理事業	森林政策課	滋賀県	—	県の所有する施設の維持管理を行う。	山門水源の森、きんせの森、県民の森の維持管理を行う。	6,308				6,308			5,062
74 67	森林整備地域活動支援交付金	森林政策課	森林所有者等	林野庁	森林経営計画等による計画的かつ適切な森林整備の推進	施策の集約化のために必要となる森林情報の収集、森林境界の確認等の地域活動に対して支援	19,682	9,841			4,921		4,920	11,469
75 68	林業試験研究	森林政策課	滋賀県	林野庁	森林・林業の振興のために必要な試験研究課題を行う。	森林政策課が課題となるテーマの試験研究を実施する。	883	300			583			883
76 69	保安林整備等管理事業(吸収)	森林保全課	滋賀県	林野庁	保安林管理のための経費	保安林整備管理、林地開発、森林保全管理等にかかる経費	19,325	5,002			14,323			5,249
77 70	補助造林事業	森林保全課	市町/森林組合/生産者/林業専業体/森林所有者	林野庁	水源涵養機能・森林CO2吸収等森林の持つ公益的機能発揮に向けた森林整備および基盤整備の補助	人工造林、除間伐等の補助	673,300	381,200	259,600		32,500			578,868
78 71	環境林整備事業	森林保全課	市町/森林組合	林野庁	放置人工林の密度調整のための補助	環境林整備の補助	140,000	50,000			90,000			132,887
79 72	農地漁場水源確保森林整備事業	森林保全課	市町/森林組合/生産者/林業専業体/森林所有者	林野庁	特定地域の除間伐の補助	農地漁場水源確保森林整備:260ha 森林作業道:36,500m	205,800	117,000			88,800			166,910
80 73	補助治山事業	森林保全課	滋賀県	林野庁	荒廃林地の復旧および予防等	荒廃林地の復旧及び予防、防災林の造成、保安林の機能回復、保樹休養のための生活環境保全等の整備を行う。	1,142,316	543,430	696,700		186			2,627,723

37

(単位：千円)

年度 (国庫・道県)	番号	事業名	担当課	事業主体	補助主体	施策の目的	事業概要	財源内訳				H26年度 予算額	H25年度 決算額
								国庫	道県	分組金・ 負担金	一般財源		
81	74	21 単独治山事業	森林保全課	滋賀県/市町	滋賀県	公益の利益の保護、民牛安定の早地等から必要な治山施設の新設や林地荒廃防止施設の管理上必要な事業を実施する。	治山施設の管理・新設、治山基礎調査、防災対策環境施設の新設を実施する。	50,700	4,400	55,100	115,952		
82	75	22 補助林道事業	森林保全課	滋賀県/市町/森林組合	林野庁/滋賀県	健全な森林の維持造成	森林の適正な維持管理等にとって必要である林道を開設・整備する。	76,000	18,650	144,500	128,698		
83	76	23 単独林道事業	森林保全課	市町/森林組合	滋賀県	健全な森林の維持造成	森林の適正な維持管理等にとって必要である林道を開設・整備する。	2,100	2,100	2,100	122		
84	—	24 【新規・再掲】 戦略的外来水生植物徹底駆除事業	自然環境保全課	琵琶湖外来水生植物対策協議会	—	琵琶湖の生物多様性を脅かす侵略的外来水生植物を徹底的に駆除する。	国や市町、県研究機関などとの連携や生態学による効果的かつ効率的な駆除方法の確立と駆除を実施する。	10,000	10,000	10,000	—	10,000	
85	77	25 自然公園法等による管理	自然環境保全課	滋賀県	環境省	固定公園等の利用促進のため、園地や施設の整備を行う。	登山道の整備等	1,440	1,760	3,200	1,775		
86	78	26 イヌワシ・クマタカ保護のための体制の確立	自然環境保全課	滋賀県	—	イヌワシとクマタカを保護する。	生態系の頂点に位置する絶滅危惧種「イヌワシ」や「クマ」の保護のため、調査事業等に際し、生息状況や生息特性に配慮した対応を求める。			—	—		
87	—	27 【新規・再掲】 生物多様性の保全と持続可能な利用の促進に向けた研究	琵琶湖環境科学研究所	滋賀県	—	「滋賀県生物多様性地域戦略」を推進していく上で必要となる生物多様性の現状を把握するとともに、滋賀における生物多様性の保全と持続可能な利用の促進、ならびにその推進体制の在り方について、社会科学・保全生態学的な観点から検討する。	生物多様性の現状把握と保全施策の検討 生物多様性保全に向けた推進方策の検討		3,801	3,801	—		
88	—	28 【再掲】 環境保全型農業直接支払交付金(原組自分)	食のブランド推進課	各農業者	滋賀県	琵琶湖や周辺環境を保全するとともに消費者に安全で安心な農産物を提供する。	環境こだわり農業を奨励した上でさらに温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い営農活動に取り組み農業者に対して直接支援する。		80,000	80,000	74,490		
89	79	29 農業用水防止活動推進事業	農業経営課	滋賀県	—	農業用水の防止のための取組を推進する。	河川の透明度調査及び啓発活動		435	435	431		
90	80	30 県営中山間地域総合整備事業	緑地課	滋賀県	農林水産省	中山間地域の農地の保全と活性化	中山間地域を対象とした農業の生産基盤や農村生活環境等を総合的に整備する。			—	122,435		

(単位：千円)

年度 (H25年度)	番号	事業名	担当課	事業主体	補助主体	施策の目的	事業概要	H26年度事業量・内容等	H26年度予算額				H25年度決算額		
									国費	起債	分担金・負担金	一般財源	その他 財源	その他 財源	H25年度 決算額
91	81	国営成施設管理体制整備 促進事業(管理体制整備型)	耕地課	滋賀県 /市町	農林水 産省	事業主体が地域と連携して、土地改良区等の 管理体制の整備を図る。	農業水利施設が有する多面的機能の発揮に対応した 管理体制の整備を図る。	管理体制整備の推進事業 管理体制の整備・強化に対する支援:24地区	209,745	139,830		69,915		220,905	
92	82	県営かんがい排水事業(地域 用水機能増進型)	耕地課	滋賀県	農林水 産省	農業用排水施設整備にあたり、農業用水 の循環利用を推進することで、農業用水の効 率的な利用を図り、地域用水機能の増進を図 る。	農業用排水施設整備	2地区 ・野洲川沿岸地区 用水路工 L=1.1km ・野洲川沿岸II期地区 用水路工 L=0.43km等	180,820	85,000	47,980	42,500	5,340	173,234	
93	83	基幹水利施設管理事業	耕地課	市町	農林水 産省	「公共・公益的な機能」や「農業生産のための 機能」を適正に発揮させる。	施設の維持管理	農業用排水の安定、農村地域の防災・環境保全 等の機能を強化した管理事業への助成:9地区	159,921	94,073		65,848		161,679	
94	84	農地環境整備事業	耕地課	滋賀県	農林水 産省	耕作放棄に伴う悪影響の除去又は耕作放棄 地の活用を通じた国土・環境の保全と、優 良農地を保全するための区画整理等を実施 する。	農地の区画整理 等	1地区 区画整理 A=0.3ha他	64,540	33,000	19,800	7,825	4,115	94,244	
95	85	県営かんがい排水事業(基幹 水利施設保全型)	耕地課	滋賀県	農林水 産省	既存施設の有効活用や効率的な機能保全対 策を推進する。	水利施設の保全計画策定及び保全計画に基づき保全 更新対策 等	14地区 ・野洲川下流II期…電気設備改修1式 ・近江八幡東部…水管理施設改修1式 ・愛西…水管理施設改修1式 ・安曇川左岸2期…測量設計1式 ・早崎…測量設計1式 ・傳坊支線用水路…保全更新対策1式 ・安曇川沿岸かんがい改修1式 ・安土北部…舗装復旧1式 ・東支線用水路…保全更新対策1式 ・南川…排水路工0.38km ・安曇川右岸I期…用水路工0.41km ・安曇川右岸II期…用水路工0.61km ・滋賀…計画策定1式	1,386,660	713,000	330,310	305,000	36,760	1,590	637,840
96	86	県営経営体育成基盤整備事 業	耕地課	滋賀県	農林水 産省	琵琶湖の水質を改善するための、環境に配 慮した農業基盤の整備	環境に配慮したほ場の整備、及び老朽化で漏水のあ る排水路を更新する。	12地区 区画整理工 A=14.9ha 用水路工 L=3.4km 排水路工 L=0.8km 他	461,758	217,187	124,100	98,374	19,097	3,000	1,214,350
97	87	県営かんがい排水事業(基幹 水利施設整備型)	耕地課	滋賀県	農林水 産省	農業用排水路等の農業生産の基礎となる 水利施設の整備	農業用排水施設整備	5地区 ・大上南部地区…排水路工1式 ・草津用水地区…送水路工 L=1.6km等 ・安曇川左岸地区…送水路工 L=0.25km ・大原地区…頭工改修1式 ・湖東平野地区…実地設計1式	667,820	281,000	158,240	140,500	17,360	72,720	969,251
98	88	びわこ流域田圃水循環推進事 業	耕地課	滋賀県 /田圃 水循環 推進協 議会	農林水 産省	農業排水の再利用を進めることで、琵琶湖へ の汚濁負荷の軽減を図る。	循環かんがい施設や反復利用施設を活用し、農業排 水の再利用に取り組み事業主体に対し、掛かり経 費を支援する	農業排水を再利用する施設の高度な活用:7地 区	6,600			6,600		5,886	

(単位：千円)

年度 (平成)	番号	事業名	担当課	事業主体	補助主体	施策の目的	事業概要	H26年度予算額				H25年度決算額			
								国費	起債	分担金・負担金	補助金	その他 市町費等	その他 県費	その他 市町費等	H25年度 決算額
99	89	地域用水機能増進事業	農村振興課	土地改良区	農林水産省	農業用水のもつ地域用水機能を、地域住民により維持・増進されていく、体制の確立を図る。	地域用水機能の増進のために行う配水管理や施設管理、それらを補完する施設整備を行う。	28,350	14,175	7,087			7,088	57,500	
100	90	村づくり交付金	農村振興課	高島市	農林水産省	自然と人間が織りなしてきた農村の水利用や自然環境、くらしなどの地域資源を伝承・文化の拠点から見直し、歴史のない構造物としての伝統的農業施設及び美しい農村景観等の保全復元に配慮した各種の整備を行う。	農業生産基礎として、ほ場整備2.2ha、農業用水路2.1km、農道整備1.2km、貯留防止溝2.4km、農村生活環境として、自然生態系水路0.2km、里山管理道3.3kmを整備する。	5,816	2,890	1,445	1,481			9,800	
101	91	みずすまし構想推進事業	農村振興課	みずすましアドバイザー一研究者	滋賀県	みずすまし協議会の運営や、生物環境に関する議論や調査などを習得するための研修会に参加し、みずすまし構想に則った、滋賀県の有する豊かな自然環境に配慮した農業農村整備事業を実施するための技術を習得する。	みずすまし推進協議会の運営や、みずすましアドバイザー一研修に参加する。	209		209			207		
102	92	県営農地防災事業	農村振興課	滋賀県	農林水産省	農業用施設等の災害を未然に防止し、農業経営の安定を図るとともに国土保全に資すること。	ため池や用排水施設等の改修または補強を実施。	822,178	441,867	75,619	30,592			706,930	
103	93	団体営農地防災事業	農村振興課	市町/土地改良区	農林水産省	農業用施設等の災害を未然に防止し、農業経営の安定を図るとともに国土保全に資すること。	ため池や用排水施設等の改修または補強を実施。	95,318	93,256		2,062			6,780	
104	94	農村振興総合整備事業	農村振興課	滋賀県	農林水産省	地域住民と行政が一体となって、農業生産基礎・農村生活環境等の整備を行い、地域の活性化を図る。	農業生産基礎・農村環境の整備	102,696	48,000	24,600	30,096			52,501	
105	95	湖田地域の総合保全対策事業	農村振興課	滋賀県	—	過疎・高齢化や獣害の多発等により耕作放棄地の発生が懸念される湖田地域において、「湖田ボランティア制度」による都市住民との共同作業を推進すること、湖田の良好な保全及び地域の活性化を図る。	湖田ボランティア制度の運営・普及啓発活動	2,971					2,971	2,983	
106	96	農業集落排水事業	農村振興課	市町	農林水産省	適正なる維持管理運用がなされ、供用開始後7年以上経過した農業集落排水施設の安定した施設能力確保	農業集落排水施設の更新・改造	50,400	25,200	5,040			20,160	70,000	
107	97	農業集落排水高度処理維持管理事業(自治振興交付金)	農村振興課	市町	滋賀県	琵琶湖の水質保全(上乗せ県条例への対応)	供用開始後の農業集落排水処理施設(汚泥処理施設を除く)の運転管理のうち、高度処理にかかる経費を支援する。 ※市町振興課所管の自治振興交付金を財源とした事業	530,000千円の内数		530,000千円の内数			530,000千円の内数		
108	98	水田反復利用施設事業	農村振興課	市町/土地改良区	滋賀県	琵琶湖に係る農業排水負荷の低減を図る。	農業排水の反復利用や農業用水の節水などを目的として、排水路反復利用施設や自動給水塔の整備などの施設整備を行う。	280		140			140	—	

40

(単位:千円)

番号 (事業 年度)	事業名	担当課	事業主体	補助主体	施策の目的	事業概要	H26年度事業量・内容等				H26年度予算額				H25年度決算額				
							国庫	起債	分担金 負担金	一般財源	その他 財源	国庫	起債	分担金 負担金	一般財源	その他 財源	国庫	起債	分担金 負担金
109	ふるさと・水と土保全対策費	農村振興課	滋賀県	農林水産省	農村地域における土地改良施設の持つ多面的な機能の発揮と集落共同活動の活性化を図ることを目的とする。	1.調査研究事業 2.研修事業 3.推進事業					1,889				1,889				1,200
110	中山間地域等直接支払交付金	農村振興課	滋賀県	農林水産省	農業生産活動等を通じて中山間地域等における耕作放棄地の発生を防止し、その多面的な機能を確保する。	中山間地域等で農業生産活動等を行う農業者に対し直接支払を実施する。 また、本制度の趣旨の徹底等を行う。	・中山間地域等直接支払交付金 1570.2ha ・中山間地域等直接支払推進交付金 1式	103,064			176,084			73,030					174,524
111	事業発生土の再利用事業	監理課	滋賀県	—	自然環境保全のため土砂採取を抑制し、建設発生土の有効利用を促進する。	設計、積算、発注、施工から完了の事業の各段階において建設発生土の工事向利用に関する情報を工事担当者に提供し、リサイクルを推進する。	県内公共工事における調整対象工事 撤出 30工事 400,000m3 搬入 10工事 200,000m3				493			493					473
112	【再掲】 生物環境アドバイザー制度	監理課	滋賀県	—	「人と自然にやさしい建設工事」を実現するため、生物環境等の専門家からの指導助言を受けながら、公共施設の計画づくりや工事実施を行うものである。	建設関係技術者の生物に対する知識の向上を図りながら、生物環境に配慮した公共事業の円滑な執行を図る。	適用箇所: 14箇所				1,722			1,722					2,298
113	街路透水性舗装、植樹帯整備事業	都市計画課	滋賀県	国土交通省	道路に降った雨を地下浸透させて、雨水の汚濁負荷を削減するとともに、地中の水脈かん養を図る。	街路の歩道を透水性舗装で実施および街路樹の植栽を実施する。	大津湖南幹線 他5路線 0.53ha				26,000			5,850		5,850			4,500
114	みずべ・みらい再生事業(河川環境保全)	河川・港湾室	滋賀県	内閣府 予算(執行は国土交通省所管)	河川が本来有している流通能力を回復させるとともに河川環境の保全を図り、琵琶湖の環境保全につなげる。	琵琶湖につながる河川の適正な維持管理を行う。	浚渫・草木抜開・維持補修				2,557,600			416,800		416,800			2,216,000
115	河川改修事業(多自然川づくり)	河川・港湾室	滋賀県	国土交通省	河川改修事業を実施するとともに、河川が本来有している生物の生息環境に配慮し、あわせて美しい自然環境を保全する。	多自然川づくりを推進する	広域河川改修事業、感震防止対策事業: 0.7km (運送アブリック張、環境積アブリック)				561,500			384,840		42,760			570,700
116	補助急傾斜地崩壊対策事業	砂防課	滋賀県	国土交通省	急傾斜地の崩壊による災害の防止	急傾斜地崩壊防止施設の設置、急傾斜地の崩壊防止工事	擁壁工21か所ほか				851,970			68,950		68,950			819,807
117	地すべり対策事業	砂防課	滋賀県	国土交通省	地すべりによる被害の除根、軽減	地すべり防止施設の設置、地すべり防止工事	地下水位観測一式				27,300			1,500		1,500			17,419
118	補助通常砂防事業	砂防課	滋賀県	国土交通省	流域における荒廃地域の保全、土砂流出の防止	砂防設備の整備	堰堤工30箇所ほか				1,811,670			174,370		174,370			1,649,980
					小計	58事業	小計				31,579,661								27,470,504

(単位：千円)

事業番号	事業名	担当課	事業主体	補助主体	施策の目的	事業概要	H26年度事業量・内容等	財源内訳			H25年度決算額
								国庫	県庫	分組金・負担金	
119 108	取り戻せ！つながり再生モジュール構築事業	琵琶湖政策課	滋賀県	—	琵琶湖と川や内湖とのつながり再生に向けた取組のモデルを構築する。	・公募により、つながり再生への意欲のある地域を3地域選定する。 ・選定地域において、つながり再生に向けた取組の検討(身近な水環境の持つ価値の発見、具体的な手法の検討、再生計画の策定)を支援する。 ・つながり再生の取組を他地域に広げるため、計画策定までの検討プロセスをガイドブックとしてまとめる。	2,180	2,180	—	—	1,567
			小計	—	小計	小計	2,180	2,180	—	—	1,567
					『琵琶湖流域生態系の保全・再生』	『琵琶湖流域生態系の保全・再生』	34,018,906	34,018,906	—	—	29,894,003

### 暮らしと湖の関わりの再生

#### 個人・家庭(身近な水環境と親しみ、自らのライフスタイルを見直していく)の増加を目指す取組

120 109	びわ湖まちなかどから環境整備事業	琵琶湖政策課	滋賀県	—	①県民のみならず一線になつて、琵琶湖の湖の周りに関心を持ち、琵琶湖を愛する行動へとともに高めていくきっかけづくりの場にする。②県民のみならず琵琶湖への思いや既に取り組んでおられる先進的な事例などを汲み取り、県の施策に反映させていくこと。	より多くの県民に「マザーレイク21計画」とは何か、琵琶湖の総合保全とは何かについて知ってもらう、琵琶湖をもっと一度見つけ直し、暮らしを琵琶湖に近づけるため、身近な生活の場に入り込み、環境保全のネットワークの輪を広げる「びわ湖まちなかどから環境整備」を開催する。	250	250	—	—	35
121 110	散在せごみ対策事業	循環社会推進課	滋賀県	—	ごみの投捨てによる散乱を防止することにより美観の保持および琵琶湖その地の水等の水質保全に努め、もって快適でさわやかな県土をつくり上げることとする。	環境美化監視員を設置し、監視・パトロール、指導、啓発等を行う。	13,097	13,097	—	—	12,151
122 111	碧海エコマスター事業	循環社会推進課	滋賀県	—	環境美化に対する県民等の意識の高揚を図るとともに、ごみの散乱を防止し、県民等と県が一体となった地域活動を推進する。	地域の環境美化を定期的に行うボランティア団体(企業、住民団体等)の活動支援(実施区域の一部に湖岸および河川を含む)	1,075	1,075	—	—	797
123 112	環境保全県民活動支援事業	循環社会推進課	滋賀県	—	環境美化に対する県民等の意識の高揚を図る。	・環境美化活動の実施 ・美しい湖国をつくる会への補助 (実施区域の一部に湖岸および河川を含む)	4,434	4,434	—	—	4,210
124 113	【新規】琵琶湖岸漂着物対策支援事業	循環社会推進課	滋賀県	—	台風等の後に湖岸に打ち寄せられる大量の漂流木等の漂着物を円滑に回収し、処分する体制を検討する。	漂着物の発生状況等を把握するための調査を行うとともに、民間と行政が連携して漂着物の回収・処分を円滑に行う仕組みを検討する研究会を設置する。	1,980	1,980	—	—	—
125 114	しがの農水産物マーケティング戦略推進事業	食のブランド推進課	滋賀県	—	滋賀県産農水産物における「滋賀」の地域ブランド力の向上。	・マーケティング推進会議の開催 ・しがの食材「総合的PRの実施	2,218	2,218	—	—	7,202



(単位：千円)

年度 (編成年度)	事業名	担当課	事業主体	補助主体	施策の目的	事業概要	H26年度事業費・内容等	財源内訳				H25年度 決算額
								国庫	起債	分担金・負担金	一般財源	
126 115	7 しがの地産地消推進事業	食のブランド推進課	滋賀県	—	直売所の活性化や学校給食などの地域流通の活性化及び卸売市場の機能を活用した県域流通の促進。	直売所、給食関係者、卸売市場等の連携強化及び関係機関の調整ならびに県民への情報提供。	1,055	1,055			893,997	
127 116	8 未来へつなぐ木の良さ体感事業	森林政策課	滋賀県 市町村/学 校等/学 生/市民 団体/林 業関係 団体/ほ か	滋賀県	木のぬくもりや良さならびに「びわ湖材」を積極的に使用することを普及啓発する。	住宅新築時での「びわ湖材」利用、小中学校等での木製学習机整備、県産材活用のための技術開発その他調査研究への取組等を支援	156,408		156,408		104,419	
128 117	9 仕事と生活の調和(ワークライフバランス)推進事業	男女共同参画課	滋賀県	—	事業者・労働者・NPO・行政など関係者が一体となって啓発活動を展開することにより仕事と生活の調和推進の社会的意識の醸成を図るとともに、男性や若者に対する意識改革を進める。	①仕事と生活の調和推進月間(11月)普及事業 A「仕事と生活の調和推進月間」ポスターリーフレット作成 B仕事と生活の調和推進講演会の開催 C若者層でワークライフ・バランスを一步すすめるキャンペーンを実施し、参加組織を募集 ②男性の仕事と生活の調和推進事業 ③若年者の仕事と生活の調和推進事業	2,767	2,767		975		
129 118	10 エサも地産地消推進事業	畜産課	畜産者を 構成員 とする 団体	滋賀県	飼料の県内自給率の向上を図るため、県内産飼料を給与して生産された畜産物の理解醸成を図り、その消費を拡大する。	勉強会や学習会の開催。PRチラシやパンフレットの作成。 飼料用米等を給与して得られた畜産物の成分分析の実施。	900	900		839,561		
								小計	183,284	小計	129,789	

なりわい(琵琶湖流域域保全と調和した生業(なりわい)の活性化と、企業による地域の環境や文化の保全、再生活動の活発化を目指す取組)

130 119	1 林業労働力確保支援センター事業	森林政策課	(一社) 滋賀県 造林公 社	林野庁	林業労働力の確保を図る。	雇用管理の改善や事業の合理化等の取り組みを林業労働力確保支援センターを通じて支援する。	127	24		103	110
131 120	2 林業労働安全衛生総合対策事業	森林政策課	森林組 合	林野庁	林業労働災害の防止を図る。	林業・木材製造業労働災害防止協会滋賀県支部が行う取り組みを支援する。	795	795			734
132 121	3 林業雇用環境改善事業	森林政策課	滋賀県 森林組 合/林 業関係 団体	—	林業従事者の雇用環境の改善を図る。	林業従事者の改善や担い手育成などを行う森林組合等を支援する。	4,000			4,000	3,076
133 122	4 森林を育む間伐材利用促進事業	森林政策課	森林組 合等	滋賀県	間伐材の搬出・利用を促進することにより、二酸化炭素の固定と地球温暖化を抑制する。	加工業者に販売する場合は仕分け経費を補助、間伐材搬出に対する補助、林業機械レンタルの助成	54,000			54,000	48,059

年度 (H25年度 H26年度)	番号	事業名	担当課	事業主体	補助主体	施策の目的	事業概要	H26年度 予算額				H25年度 決算額			
								国費	県費	分租金・負担金	一般財源	その他 市町費等	その他 県費	分租金・負担金	一般財源
134	123	木の香る淡海の家推進事業	森林政策課	県産木材活用推進協議会	滋賀県	地球温暖化防止および森林整備促進の観点から、住宅へのびわ湖材利用を推進する。	木材利用者である工務店等に「びわ湖材」の購入経費の一部を助成する。	49,838				49,838			46,900
135	124	県産木材生産流通促進事業	森林政策課	滋賀県	滋賀県	県産木材の生産、流通体制の整備促進を図る。	県産木材の生産体制、流通拠点整備に必要な関係機関との調整調査、木材情報収集	600				600			344
136	125	【新規・再掲】生物多様性の保全と持続可能な利用の促進に向けた研究	琵琶湖環境科学センター	滋賀県	滋賀県	生物多様性の現状把握と行政・企業における生物多様性の主流化促進に向けた政策提案を行う。	「滋賀県生物多様性戦略」を推進していく上で必要となる生物多様性の現状を把握するとともに、滋賀県における生物多様性の保全と持続可能な利用の促進、ならびにその推進体制の在り方について、社会的・保全生態学的な観点から検討する。	3,801				3,801			-
137	125	県民活動支援の総合推進	県民活動課	滋賀県	滋賀県	さまざまな取組の実施主体のネットワーク化により、共通する地域課題を解決するためのきっかけを提供する。	「県民の社会貢献活動促進のための基本的な考え方」に基づき、県民の社会貢献活動に対する理解を促すとともに、活動の普及促進に努める。	-				-			2,462
138	126	びわ湖環境ビジネスマッセ	モノづくり振興課	びわ湖環境ビジネスマッセ実行委員会	滋賀県	環境産業の育成・振興を図ることにより、持続可能な社会の実現を目指すとともに、経済の発展に寄与する。	環境への負荷を軽減する製品や技術、サービス、ビジネスモデルを展示する環境産業総合見本市を開催する。 ・びわ湖環境ビジネスマッセ2014 出展数：300企業・団体、500小間(予定) セミナー：19本 出展者プレゼンテーション：26本 ビジネスストリップ：10コース ・びわ湖環境ビジネスマッセ2014海外 海外で開催される環境関連見本市に「びわ湖環境ビジネスマッセ」のコーナーを県内中小企業者10社程度と共同で開催	15,000				10,000	5,000		14,122
139	127	農村地域住民活動支援事業	農村振興課	滋賀県 土地改革事業実行委員会	滋賀県	地域のリーダーを対象とした研修会を開催するなど、地域住民団体等の活動を支援することにより、環境保全活動の定着を図る。	地域のリーダーを対象とした研修会の実施や、地域活動への専門家の派遣に関する手続などを行政費用に対して補助する。	1,000				1,000			1,000
140	128	特産マス類資源の保全と活用に関する調査・研究	水産試験場	滋賀県 水産庁	滋賀県	本県特有のマス類の漁業と養殖業の振興を図る。	在来マス類資源の増殖技術及びびわ湖マス類への普及とできる養殖技術を開発する。	2,257	855			2,257	855		1,293
								小計	131,418			131,418			118,100

地域(地域固有の環境、文化や歴史の再評価と、それらを保全する活動や取組の活発化を目指す取組)

141	1	【再掲】取り戻せ！つながり再生モデル構築事業	琵琶湖政策課	滋賀県	滋賀県	琵琶湖と川や内湖とのつながり再生に向けた取組のモデル構築する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公募により、つながり再生への意欲のある地域を3地域選定する。</li> <li>・選定地域において、つながり再生に向けた取組の検討(身近な水環境の持つ価値の発見、具体的な手法の検討、再生計画の策定)を支援する。</li> <li>・つながり再生の取組を他地域に広げるため、計画策定までの検討プロセスをガイドブックとしてまとめる。</li> </ul>	2,180				2,180			1,567
-----	---	------------------------	--------	-----	-----	---------------------------------	---	-------	--	--	--	-------	--	--	-------

(単位：千円)

年度	番号	事業名	担当課	事業主体	補助主体	施策の目的	事業概要		H26年度予算額				H25年度実績		
							内容等	内容等	国費	国庫	分担金・負担金	一般財源	その他補助金	その他補助金	
142	2	【再掲】 びわ湖まちかどむらちかど環境 整備事業	琵琶湖政 策課	滋賀県	—	①県民のみならず一帯になつて、琵琶湖の 現状や課題、さらには私たちが暮らす琵琶 湖の関わりについて考え、琵琶湖を守る行動 へとともに高めあつていきつかけつくりの場 にすること。 ②県民のみならずの琵琶湖への思いや思い 取り組んでおられる先進的な事例などを学び 取り、県の施策に反映させていくこと。	【びわ湖まちかどむらちかど環境整備】を県内各地で 実施。 10地区/年	250			250			35	
143	129	みんなの森づくり活動支援事 業	森林政策 課	市町/ 森林組 り団体 等	滋賀県	県民と協働による森林づくりを推進する。	県民が森林づくり活動に参加できるような機会や取組 を支援する。	県民参加の里山づくり事業 3地区 他	5,123			5,123			8,118
144	130	ラムサールびわつこ大使事業 (ラムサール条約の普及啓発)	自然環境 保全課	滋賀県 /(公 財)滋 賀環境 保全財 団	—	広い視野で人と自然を考え、琵琶湖を取りま く環境を守り伝えるために具体的に行動し、 活動を広げていくことができる人材を育 成する。	・事前学習会：3回 ・KODOMOラムサール：2回	2,489			1,556			2,489	
145	131	滋養ネットワークセンター支援 事業	県民生活 課	(公財) 滋養文 化振興 財団	滋賀県	地域の保全活動やネットワーク化を支援する ため、滋養ネットワークセンターを通じて県民 活動を支援	情報提供、活動・組織基盤強化(未来ファンドお み等)、人材育成(おみ未来塾)	50,966				50,966			52,631
146	132	都市農村交流事業	農村振興 課	滋賀県 /市町	—	都市農村交流を活用し農村地域の振興を図 る。	農村地域で取り組まれている活動の情報発信や農 産物・地域資源を活用した都市農村交流の受入体制の整 備や遊覧の魅力を向上させ、宿泊・宿泊者の体大と農 村地域の活性化を図るため、セミナーやおもてなしの 向上に向けた研修会等を開催	(1)ウェブサイト保守運用業務 1式 (2)地域活性化ネットワーク交流会 1式 (3)しがGTN連絡会の運営 1式 (4)しがの農村魅力アップ支援事業 ・調査研究(地域交流力診断) 4地域 ・地域連携能力向上セミナー 2箇所 ・農家民宿魅力アップ研修会 1箇所 (5)おみなのふるさとづくり応援事業 1式	2,430			2,500	2,678		2,430
147	7	【再掲】 村づくり交付金	農村振興 課	農林水 産省	農林水 産省	自然と人間が織りなしてきた農村の水利資産 や自然環境、くらしなどの地域資源を伝統・文 化的観点から見直し、見損ないの遺物として 伝統的農業施設及び美しい農村景観等の 保全策に配慮した各種の整備を行う。	測量設計1式	9,800			1,445	1,481			9,800
148	8	【再掲】 びわこ地球市民の森事業	都市計画 課	滋賀県	国土交 通省	生物多様性空間(ビオトープ)をつなぎネット ワーク化するための拠点の確保	県民との協働(パートナーシップ)による森づくりを行 う。	125,225				139,500	65,438		125,225
149	133	水害に強い地域づくり事業(流 域治水の推進に関する条例の 推進)	流域治水 政策室	滋賀県	国土交 通省	地域住民・市町・県・国・関係機関等が協働に より、水害に強い地域づくりを進める。	水害に強い地域づくり計画の検討を行う。	甲賀市黄瀬地区(大戸川)、米原市村居田地区 (姉川)、草津市きぬがさ城東地区(琵琶湖)で 水害に強い地域づくり計画の策定に着手および 検討	28,580			28,580	20,000		30,571
150	134	水害に強い地域づくり事業(流 域治水の推進に関する条例の 推進)	流域治水 政策室	滋賀県	—	地域住民・市町・県・国・関係機関等が協働に より、水害に強い地域づくりを進める。	水害体験者から聞き取り調査を実施し、県のホーム ページ上で「水害の記録と記憶」として情報発信する。	水害情報収集、水害情報発信	3,563			3,563			2,231

事業番号	事業名	担当課	事業主体	補助主体	施策の目的	事業概要	H26年度予算額	財源内訳			H25年度決算額	
								国庫	県債	分組金・負担金		
151	みずべ・みらい再生事業(ふるさとの川づくり協働事業)	河川・港湾課	滋賀県	—	地域住民との協働による河川の維持管理を推進する。	地域が行う河川の竹木伐採等の河川愛護活動に対し費用の助成を行うとともに、これらの活動を支援するための川へ降りる階段等を整備する。	181,600	163,400	18,200	—	181,600	
					小計	11事業	424,312				416,696	
<b>つながりへの配慮(地域を越えた活動のための仕組みづくりと普及の定着を目指す取組)</b>												
152	びわこルールキッズ事業	琵琶湖政策課	滋賀県	—	県内や下流府県の小中学生に外来魚の釣り上げを呼びかけ、リリース禁止の幅を広げる。	全国の小中学生を対象に、夏休み期間中に外来魚のリリース禁止の呼びかけを行う「びわこルールキッズ」を募集し、登録会を兼ねて釣り大会を開催。また、成果報告のあったキッズの中から匹数により表彰。	358		58	300	358	
153	マザーレイクフォーラム推進事業	琵琶湖政策課	マザーレイクフォーラム運営委員会・滋賀県	—	マザーレイク21計画第2期計画の進行管理及び評価・提言を行う。多様な主体が思いと課題を共有し、地域・分野を超えたつながりを育む。	琵琶湖流域に関わる多様な主体が、お互いの立場や経験・思いの違いを尊重しつつ思いや課題を共有し、琵琶湖のために話し合うとともに、マザーレイク21計画の進行管理の一部を担い、評価・提言を行う。マザーレイクフォーラムは、多様な主体が思いと課題を共有し、地域・分野を超えたつながりを育む。新たな活動へと展開していくプラットフォームとして、みんなの情報交流サイトの運営、管理を行う。	2,000	2,000			1,499	
154	【再掲】びわ湖まちなかどむらから環境事業	琵琶湖政策課	滋賀県	—	①県民のみならず一緒に暮らす琵琶湖の現状や課題、さらには私たちの暮らしと琵琶湖の関わりについて考え、琵琶湖を守る行動へとともに高めあっていくきっかけづくりの場とする。②県民のみならず琵琶湖への思いや既に取り組んでおられる先進的な事例などを取り取り、県の施策に反映させていくこと。	より多くの県民に「マザーレイク21計画」とは何か、琵琶湖の総合体全体とは何かについて知ってもらい、琵琶湖をもっと一度見つめ直し、暮らしを琵琶湖に近づけるため、身近な生活の場に入り込み、環境保全のネットワークの輪を広げる「びわ湖まちなかどむらから環境」を開催する。	250		250		35	
155	「びわ湖の日」活動推進事業	環境政策課	滋賀県	—	「びわ湖の日」の意義や琵琶湖の大切さを県民等に広く周知する。	民間企業や大学など様々な主体とともに、「びわ湖の日」の啓発を行う。	1,000			1,000	570	
156	協働の森づくり啓発事業	森林政策課	滋賀県/市町	—	森林を県民みんなで守り育てる意識の高揚と森づくりへの参加拡大等を図る。	県誌の発行、交流会の開催、地場普及啓発活動の実施など	15,648		15,648		14,417	
157	森林環境学習「やまのこ」事業	森林政策課	市町/学校法人/国立大学法人	滋賀県	次世代担子子どもたちが森林への理解と関心を深める。	県内の小学校4年生を対象に、森林環境学習を実施する。	100,687			100,687	95,351	
158	緑化普及啓発事業	森林政策課	滋賀県	—	緑化活動の普及啓発	緑化功労者表彰、全国植樹祭等への参加、緑化普及啓発	500		500		262	

年度 番号	事業名	担当課	事業主体	補助主体	施策の目的	事業概要	財源内訳				H25年度 決算額
							国費	県費	分担金・ 負担金	一般財源 等	
159 142 8	ラムサール条約関連事業	自然環境 保全課	滋賀県	—	ラムサール条約を普及・啓蒙する。	会員の資質向上のための研修会、関係市町内の住民・団体を対象とした観察会等を開催する。	185			185	185
160 143 9	野生生物生息状況調査	自然環境 保全課	滋賀県	—	滋賀県で大切にすべき野生生物(2010年版)の調査を実施する。	野生生物が直面する危機をモニタリングして、5年ごとにレッドデータブック(滋賀県)で大切にすべき野生生物の見直しを行うため、状況追跡が必要な野生生物の調査を随時実施する。	3,000			3,000	2,993
161 144 10	外部資金導入型実践研究	琵琶湖環 境科学研 究セン ター	滋賀県	—	外部資金を活用し、琵琶湖環境に関する政策課題の解決に向けた研究を行う。	琵琶湖と滋賀県の環境に関する政策課題の解決に向け、提案公募型実践型事業等の資金獲得に積極的に取り組む、外部資金を活用した実践研究を行う。	6,500	4,000		2,500	4,082
162 145 11	【新規】持続可能な琵琶湖・滋賀の社会像とその実現方法に関する研究	琵琶湖環 境科学研 究セン ター	滋賀県	—	環境、社会、経済の面から社会の持続可能性について総合的に評価するための枠組みや手法を確立する。	・脱温暖化に向けた地域エネルギーシステムの作成 ・幸福度指標の作成・目標社会像作成のための社会経済環境統合評価数値モデルの構築・多様な主体が課題と目標を共有し、各自ができることを考える事を通じた滋賀の目標社会像の作成および主体別行動計画の検討	4,199			4,199	—
163 146 12	エコロシ〜が運用事業	琵琶湖博 物館	滋賀県	—	県民や各種団体などが行う環境学習や活動がよりよいものとなるべく、提供を行う。	環境学習情報システム「エコロシ〜」の保守管理を行う。	788			788	766
164 147 13	調査・資料収集事業	琵琶湖博 物館	厚生労 働省	滋賀県	琵琶湖博物館の中長期基本計画に基づき、幅広いテーマで研究調査に取り組み、その成果の発信、博物館資料としての活用、水族資料の管理等を行う。	琵琶湖の生成や琵琶湖と人々の関わりに関する研究に取り組みとともに、琵琶湖地域の自然、歴史、暮らしの研究・調査を総合的に推進する。	158,204			59,943	98,261
165 148 14	展示事業	琵琶湖博 物館	厚生労 働省	滋賀県	研究調査の成果や地域に根ざした身近な話題を材料とし、人と自然の関わり等について展示を行う。	・企画展示の開催 ・常設展示の開催 ・新琵琶湖博物館の創設	125,656	42,700		14,999	67,957
166 149 15	環境学習支援事業費(エコロシ〜が運用事業分除く)	琵琶湖博 物館	厚生労 働省	滋賀県	県民や各種団体などが行う環境学習や活動を支援する。	各種情報、交流機会の提供、環境学習関連の各主体の運営等に取り組み琵琶湖博物館環境学習センターの運営を行う。	317			317	185
167 150 16	情報交流事業	琵琶湖博 物館	滋賀県	—	図書館の運営、観察会や体験教室の開催など、情報交流事業を行う。	博物館機能を活用し、県民、企業、団体等と協働し、みなが琵琶湖のことを感じ誇る交流機会を提供し、住民各層と琵琶湖との各種交流イベントなどを実施する。	32,447			30,514	1,933
											30,304

年度 H25年度 H26年度	番号	事業名	担当課	事業主体	補助主体	施策の目的	事業概要	財源内訳				H26年度 予算額	H25年度 決算額
								国庫	定額	分組金 負担金	一般財源 530,000千円の内訳		
168	151	たんぼの二体験事業 (自治振興交付金)	食のブランド推進課	市町	滋賀県	小学生の子どもたちが、生命や食べ物の大切さを学ぶ機会の提供。	小学生が、自らたんぼや畑に入り、「育て」、「収穫し、そして調理して「食べる」という一貫した農業体験学習の実施。 ※市町振興課所管の自治振興交付金を財源とした事業	530,000千円の内訳					530,000千円の内訳
169	152	香湖再生ワタカ放流事業(学習会)	水産課	滋賀県	—	香湖の現状、ワタカなど魚介類の生態系について学習してもらう。	・香湖の水草異常繁茂の実態を知ってもらうとともに ・魚の学習会を開催 ・琵琶湖環境や魚介類、漁業の学習、ワタカの放流	400			400		400
170	153	アユの冷水病対策研究	水産試験場	滋賀県	—	冷水病の予防、治療及び冷水病菌の完全除去技術の確立	左記目的を達するため試験研究を行う。 ・冷水病抗毒性付与及び除菌技術普及研究 ・急性スレシ症対策研究 ・冷水病後遺症対策研究 ・ワタケンの実用化研究 ・トキソイドワクチンの効果向上研究	750	750		750	1,860	2,773
171	154	水産試験場一般公開	水産試験場	滋賀県	—	試験研究内容の説明や琵琶湖の魚介類の展示、湖魚の試食などを通じて琵琶湖の水産業に対する啓発	水産試験場の業務および施設の紹介と琵琶湖の水産業への啓発を行う。 ・研究発表と研究パネル展示 ・滋賀県の魚介類展示 ・魚つかみ体験 ・湖魚の試食						—
172	155	魚を学ぶ体験学習促進事業	水産試験場	滋賀県	—	琵琶湖環境入場者や小中学生等に対して内水面漁業の理解や自然環境保全の啓発普及に努める。	琵琶湖環境入場者や小中学生等に対して内水面漁業の理解や自然環境保全の啓発普及に努める。 ・一般入場者に対しての魚類や漁業に関する啓発普及 ・夏休み親子さかな教室の開催 ・採卵教室の開催						—
173	156	琵琶湖環状線小学生体験学習プログラム支援事業	交通政策課	琵琶湖環状線利用促進協議会	滋賀県	琵琶湖環状線の利用促進・利用啓発	環状線を利用した小学校の校外学習に対して飲食運賃分を補助する。 生徒6,000人参加	3,000			3,000		2,073
174	157	琵琶湖一周ウォーキング事業	交通政策課	滋賀県ウォーキング協会	—	公共交通機関を利用した琵琶湖を一周するウォーキングを定着させること	県内のJR駅を起終点とした分割コースで琵琶湖を歩いて一周するウォーキング大会を開催する。 ※ゼロ予算	12回開催					—
175	158	新交通システム推進事業	交通政策課	滋賀県	—	湖上交通利用促進・利用啓発	県内大学と連携しモバイルナビゲーションシステムの提供、案内板やハンズフリーの設置による情報提供	2,000			2,000		500
176	159	自転車歩行者道の整備	道路課	滋賀県	—	琵琶湖周辺の水辺をつなぎ、サイクリングやウォーキングができるよう、自転車歩行者の通行空間の充実を図る。	琵琶湖・湖上交通に関する情報発信や、駅から港までの交通アクセス情報整備 自転車歩行者道の設置 工事 (1路線、215m)	19,794	3,629	3,441	136		22,399

(単位：千円)

年度 (年度 番号)	事業名	担当課	事業 主体	補助 主体	施策の目的	事業概要	H26年度 予算額	財源内訳				H25年度 決算額
								国費	県債	分組金 負担金	財源 等	
177	【再編】みずべ・みらい再生事業(ふるさとの川づくり協働事業)	河川・港灣室	滋賀県	—	地域住民との協働による河川の維持管理を推進する。	地域が用いる河川の竹木伐採等の河川愛護活動に対し費用の助成を行うとともに、これらの活動を支援するための川へ降りる階段等を整備する。	181,600	163,400	18,200		181,600	
178	しが環境教育リーディング事業	学校教育課	滋賀県	—	持続可能な社会づくりに向けて行動できる人づくりを目指す。	研究指定を受けた小学校・中学校・高等学校が、人・自然環境、エネルギー、社会生活、生命とのよりよい関係を築くため、児童生徒が探求的に取り組む環境学習プログラムを作成し、その成果を検証する。	3,000		3,000		1,560	
179	161 28 「地域のかを学校へ」推進事業	生涯学習課	滋賀県	—	「しが学校支援センター」を設置し、豊富な知識や経験を持つ地域の人々や企業・団体・NPO等(支援者)が、学校を支援する仕組みづくりを推進する。	学校と支援者との連絡調整、相談・助言、企画・運営といったコーディネートを行い、琵琶湖の環境保全及び再生に関する連携事業を実施する。	3,408		3,408		3,410	
180	162 29 淡水生涯カレッジ開設事業	生涯学習課	滋賀県、各市実行委員会	—	様々な学習機関の連携により、広域的、専門的かつ体系的な学習の機会を提供する。	地域の学習機関が連携し、公民館等の日常的な学習、高等学校での体験的な学習、大学での専門的な学習を組み合わせ、地域を一つのキャンパスとした学習機会を提供する。	928		928		860	
181	163 30 におねっとの運用	生涯学習課	滋賀県	—	県民の生涯学習を促進	団体、NPO、学校、大学、企業、社会教育施設、市町・県等の各機関が実施する講座や教室等の学習情報を一元化し、情報提供や学習相談を行い、県民の主体的な生涯学習の取組を支援する。	4,504		4,504		5,563	
182	164 31 びわ湖フロンティアリングスクール	びわ湖フロンティアリングスクール	滋賀県	—	学校教育の一環として、県内小学生を対象に、異なる湖・琵琶湖を舞台にして、学習船「うみのこ」を使用した宿泊体験型の教育を展開し、環境に主体的に関わる力や人と人と繋がる力を育む。	■児童学習航海(1泊2日) 94航海 ■乗船児童数 250校 約15,000人 (うち琵琶湖・淀川流域交流校 6校) ■「湖の子」体験航海等(1日) 3航海	236,906		236,906		235,609	
小計							917,845				802,184	
『暮らしと湖の関わりの再生』小計							1,656,659					1,466,770
『暮らしと湖の関わりの再生』小計												

合計(重複含む)	31,360,773
合計(重複除く)	30,837,086

合計(重複含む)	35,675,765
合計(重複除く)	35,110,853

合計(重複含む)	182事業
合計(重複除く)	164事業

※平成25年度決算額は、千円未満四捨五入のため、合計等が一致しない場合がある。

※実数が不明(内数表記)の事業分については合算対象外とした。

